

東京開催 プログラム

部屋割りは、当日ガイドマップでご案内します。
このプログラムは当日もご持参ください。
申し込み方法は、43ページをご覧ください。

8月28日[火] 展示会は10:00-18:00

start → 10:00
finish →

12:15 | 12:30 | 13:10

基調講演 + コンテスト表彰式	[基調講演] 池谷 裕二 →東京大学大学院 薬学系研究科 講師 脳を知る、脳に伝える、脳を活かす — ヒトはなぜ頑固なのか	[表彰式] 日本マニュアル コンテスト2007表彰式 1階アトリウム
	特01 現場ですぐに使える色彩の知識 ～色彩を語れるようになる～ 特02 文章表現の基本をマスターする	

8月29日[水] 展示会は10:00-15:50

start → 10:00
finish →

11:00 | 11:30 | 12:30

パネェル ディスカッション	パ04 ユーザーにとって魅力ある取扱説明情報とは？	
	パ05 見直そう！アジア市場向け製品取扱情報 ～現地事情と将来ビジョン～	
	パ06 新しい取り扱い情報の「説明とビジュアル表現」 ～紙・電子を問わずやさしく・効果的に伝えるには～	
発表 事例+研究	発07 ドラム式洗濯乾燥機の情報を もっと分かりやすくお伝えるために	発09 「概説マニュアル」のあるべき形 ～拡販ドキュメントとのすみわけ～
	発08 ローカリゼーション技術標準のサーベイ	発10 Web2.0時代のWebマニュアルに関する考察
協会 発表	発17 家庭で使われるWebマニュアルの提案 ～デジタルテレビのWebマニュアル試作～	発18 インターフェイス？ インターフェース？ ゆらぎなきカタカナ表記のあり方 NO.2
商品 紹介	商04 文書校正支援ツール「Just Right!」の 最新動向と将来像	商06 InDesign XML/構造化支援 Xolid (ソリッド)
	商05 ドキュメント資産の効率的多言語展開: Idiom WorldServer	商07 InDesign ServerとXMLによる コンテンツ管理
セ特別 セッション	特05 伝えるためのライティング入門	
	特06 素材データの活用を！ ～今、求められているテクニカルイラストの作り方を徹底解説～	

		14:00	15:00	15:30	16:30
パネル ディスカッション	●	01 マニュアル制作における校正支援ツール活用のポイントを探る ～ツールに何を期待するのか？ 何ができるのか？～			
		02 いま、ライターに何が求められているのか ～紙でも電子でもWebでも、大切なのは表現力～			
		03 安全表記と取扱説明書の役割 ～取扱説明書に表記する内容を見直そう～			
事例・研究 発表	●	01 GUI実装に関する基準策定の取組み		04 デジタルテレビの機能誘導型内蔵ヘルプ 開発事例	
		02 画像データ活用のためのワークフローと Microsoft Word の自動化手法		05 様々な専門分野における 「テクニカルライティング」の考え方	
		03 TC的観点から見た電子辞書UIの比較		06 活用ムービー Cyber-shot Step-up Guide	
商品紹介	★	01 xfyと自動組版を使ったXML文書の マニュアル制作ソリューション		03 ドイツ安全認証機関VDE が提案する SMART Manual	
		02 XSL Formatterによるマニュアル作成の 紹介			
特別 セッション	◆	03 入門 電子媒体のユニバーサルデザイン ～Webによる情報提供のアクセシビリティ～			
		04 初級 英文ライティング講座 ～英文原稿チェックのポイント～			

		14:00	15:00	15:30	16:30
パネル ディスカッション	●	07 変貌するテクニカルコミュニケーションの制作現場			
		08 多言語展開もエコの時代 ～制作現場のシンプル・イズ・ベストを探る～			
事例・研究 発表	●	11 ヨーロッパ発 Good Writing Practices		14 お客様の声を活かしたものづくりのための 仕組み	
		12 短くてもしっかり伝わる — 文と見出しの新セオリー		15 コミュニケーションとしてのSEO手法	
		13 “松下取説”の革新 !! ～考え方と実践。その経営成果～		16 中国向け使用説明書の翻訳品質の考察	
商品紹介	★	08 ソフトウェアローカリゼーションツール PASSOLOの最新情報		10 用語統一の基本ツールSuperHT ³	
		09 More than DTP — インデザインで 自動処理DTP			
特別 セッション	◆	07 Webデザインの基礎と実践			
		08 Web新時代のユーザーインターフェース			